

第22回 定時株主総会 招集ご通知

日時：2026年3月26日(木曜日) 午前10時

受付開始 午前9時30分

場所：ホテル ルポール麹町（麹町会館）

2階「サファイアの間」

東京都千代田区平河町二丁目4番3号

(末尾の会場ご案内図をご参照ください。)

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役4名選任の件

■事前の議決権行使について

インターネット又は書面によって議決権を行使することができます。

議決権行使期限：

2026年3月25日(水曜日)午後6時30分まで



目次

 招集ご通知	1
 株主総会参考書類	7
 事業報告	12
 連結計算書類・計算書類	31

r a k u m o 株式会社

(証券コード 4060)

証券コード 4060
(発送日) 2026年3月6日
(電子提供措置開始日) 2026年3月5日

株 主 各 位

東京都千代田区麴町三丁目2番地
r a k u m o 株 式 会 社
代表取締役社長 清 水 孝 治

第22回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第22回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

本定時株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）については、電子提供措置をとっておりますので、以下の当社ウェブサイトアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://investor.rakumo.com/ja/ir/stock/meeting.html>



また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



（上記の東証ウェブサイトアクセスのうえ、＜銘柄名（会社名）＞に「r a k u m o」又は＜コード＞に当社証券コード「4060」（半角）を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

なお、インターネット又は書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、当社の指定する議決権行使サイト（<https://evote.tr.mufg.jp/>）において賛否を入力されるか、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえご返送いただくか、いずれかの方法により、2026年3月25日（水曜日）午後6時30分までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2026年3月26日（木曜日）午前10時（受付開始：午前9時30分）
2. 場 所 東京都千代田区平河町二丁目4番3号
ホテル ルポール麹町（麹町会館） 2階「サファイアの間」
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）

3. 目的事項

- 報告事項**
1. 第22期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第22期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案** 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役4名選任の件

4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

- (1) 議決権行使書に賛否の意思表示がない場合の取扱い
議案につき賛否の表示のない場合は、賛成の意思表示があったものとしてお取扱いいたします。
- (2) 書面並びにインターネットによる議決権行使が重複してなされた場合の取扱い
書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効としてお取扱いいたします。
- (3) インターネットによる議決権行使が重複してなされた場合の取扱い
インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効としてお取扱いいたします。
- (4) インターネットによる議決権行使のご案内
インターネットによる議決権行使方法の詳細につきましては、＜インターネットによる議決権行使のご案内＞をご参照ください。

以 上

~~~~~  
◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにおいて、その旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載いたします。

◎その他、株主様へのご案内事項につきましては、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://investor.rakumo.com/ja/ir.html>) に掲載させていただきますので、適宜同サイトより最新情報をご確認くださいようお願い申し上げます。

◎本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。

なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、お送りする書面には記載していません。

- ① 事業報告の「新株予約権等の状況」「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」
- ② 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
- ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
- ④ 監査報告の「連結計算書類に係る会計監査報告」「計算書類に係る会計監査報告」「監査役会の監査報告」

従いまして、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。

#### ご来場される株主様へのお願い

- ・当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。また、紙資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。
- ・ご来場株主様へのお土産や、お飲み物等をご用意しておりませんので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。
- ・当日、障がい等でサポートを必要とされる方は、現地スタッフへお気軽にお声掛けください。





# インターネットによる議決権行使のご案内

行使  
期限

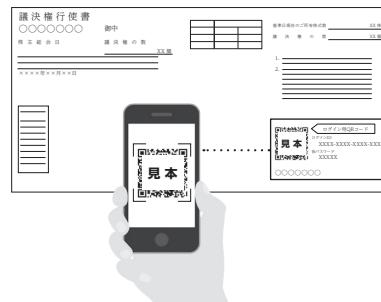
2026年3月25日（水曜日）  
午後6時30分入力完了分まで

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



※議決権行使書用紙はイメージです。

インターネット及び書面（郵送）の両方で議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

# ログインID・仮パスワードを 入力する方法

議決権行使  
ウェブサイト

<https://evote.tr.mufg.jp/>

**1** 議決権行使ウェブサイトアクセス  
してください。

**2** 議決権行使書用紙に記載された「ロ  
グインID・仮パスワード」を入力  
しクリックしてください。

「ログインID・仮パ  
スワード」を入力

「ログイン」を  
クリック

**3** 以降は画面の案内に従って賛否をご  
入力ください。

※操作画面はイメージです。

パソコンやスマートフォンのインターネットのご利用環境等によっては、議決権行使ウェブサイトがご利用できない場合があります。

## インターネットによる議決権行使に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク

0120-173-027

(通話料無料/受付時間 9:00~21:00)

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けており、成長投資、資本効率及び株主還元のバランスを考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行っていく方針であります。また、2027年12月期における配当性向30%を目標としております。

このような基本方針に従い、当期の期末配当につきましては、売上高及び営業利益が共に過去最高を更新している順調な事業成長の状況を踏まえて、次のとおりといたしたいと存じます。

1. 配当財産の種類  
金銭
2. 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額  
当社普通株式1株につき金9円  
総額52,463,988円
3. 剰余金の配当が効力を生じる日  
2026年3月27日

## 第2号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（5名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役会において機動的に意思決定が行えるよう1名減員し、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                        | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                          | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                  | 所有する<br>当社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                | しみず こうじ<br>清水 孝治<br>(1977年11月5日)<br><b>再任</b> | 2001年4月 ニフティ株式会社入社<br>2014年4月 Jibe Mobile株式会社（現 Automagi株式会社）入社<br>2014年7月 同社取締役<br>2021年1月 SREホールディングス株式会社入社<br>2023年6月 同社常務執行役員<br>2024年10月 当社入社 事業担当執行役員COO<br>2025年3月 当社代表取締役社長グループCEO（現任） | 2,700株         |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b><br/>清水孝治氏を取締役候補者とした理由は、当社代表取締役社長就任以降、当社グループの成長を牽引してきた実績とSaaS事業やAI事業の開発・推進、M&amp;A/PMI、法人営業分野等での幅広い経験と知見に基づき、企業価値向上と持続的成長のために適切な人材と判断し、当社グループの更なる成長に不可欠であると考えたため、引き続き選任をお願いするものであります。</p> |                                               |                                                                                                                                                                                                |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                    | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                    | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                         | 所 有 す る<br>当 社 の 株 式 数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 2                                                                                                                                                                                                            | い し だ か ず や<br>石 田 和 也<br>(1982年11月2日)<br><br><b>再 任</b>    | 2005年4月 株式会社アイ・デザイン・システムズ（現<br>株式会社ディー・ビー・アイ）入社<br>2010年4月 株式会社日本技芸（現 当社）入社<br>2013年9月 当社プロダクト部長<br>2020年1月 当社執行役員プロダクト部長<br>2022年3月 当社取締役CTOプロダクト部長（現任） | 7,300株                 |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>石田和也氏を取締役候補者とした理由は、同氏がプロダクト開発における豊富な知識と経験を有しており、当社入社以来、プロダクト部門を牽引し、事業の発展に貢献してまいりました。今後も同氏の豊富な経験と幅広い見識により、当社グループのさらなる成長・発展に貢献が期待できるため、引き続き選任をお願いするものであります。                            |                                                             |                                                                                                                                                          |                        |
| 3                                                                                                                                                                                                            | い し そ ね けん た<br>石 曾 根 健 太<br>(1987年5月18日)<br><br><b>再 任</b> | 2013年2月 有限責任 あずさ監査法人入所<br>2016年8月 公認会計士登録<br>2022年1月 当社入社 経営管理部長<br>2024年1月 当社執行役員経営管理部長<br>2024年3月 当社取締役CFO経営管理部長<br>2025年9月 当社取締役CFO（現任）               | 1,900株                 |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>石曾根健太氏を取締役候補者とした理由は、同氏が公認会計士としての監査法人における幅広い経験と、会計及び財務における豊富な知見を有しており、当社入社以来、当社グループ全般における経営管理に尽力してまいりました。この経験と知見により、財務戦略の策定・推進などを通じ、当社グループのさらなる成長・発展への貢献が期待できるため、引き続き選任をお願いするものであります。 |                                                             |                                                                                                                                                          |                        |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                            | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                     | 所 有 す る<br>当 社 の 株 式 数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | か ね こ ま さ し<br>金 子 昌 史<br>(1986年5月20日)<br><br>再任 社外 | 2009年4月 JPモルガン証券株式会社入社<br>2015年4月 株式会社ストライプインターナショナル<br>入社<br>2018年6月 株式会社アドバンテッジパートナーズ入社<br>アドバンテッジアドバイザーズ株式会社<br>出向<br>2023年12月 アドバンテッジアドバイザーズ株式会社<br>ディレクター<br>2024年3月 当社社外取締役(現任)<br>2025年8月 株式会社ZEN設立、代表取締役(現任) | —                      |
| <p><b>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</b></p> <p>金子昌史氏を社外取締役候補者とした理由は、同氏は事業会社や上場企業成長支援会社において、M&amp;A、経営企画、事業成長、生産性改善等、企業経営に関する豊富な経験と幅広い見識を有しており、それらをもとに経営全般の観点から、取締役の職務執行に対する監督、助言等いただくことを期待できるため、引き続き選任をお願いするものであります。</p> <p>また、同氏の選任が承認された場合には、報酬委員会の委員として役員報酬等の決定に対し、客観的・中立的立場で引き続き関与いただく予定です。</p> |                                                     |                                                                                                                                                                                                                      |                        |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 金子昌史氏は、社外取締役候補者であります。
3. 当社は同氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。なお、同氏の再任が承認された場合には、当該契約を継続する予定であります。
4. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当該保険契約の内容の概要は、事業報告の「2. 会社の現況 (2) 会社役員の状況 ③ 役員等賠償責任保険 (D&O保険) の内容の概要」に記載のとおりであります。取締役候補者の選任が承認されますと、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
5. 金子昌史氏は、現に当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。

以上

(ご参考) 本総会終了後の取締役(予定)のスキルマトリクス

本総会の第2号議案を原案どおりご承認いただきました場合の取締役(予定)のスキルマトリクスは下表のとおりであります。

| 氏名           | 清水 孝治              | 石田 和也  | 石曽根 健太 | 金子 昌史 |
|--------------|--------------------|--------|--------|-------|
| 地位           | 代表取締役社長<br>グループCEO | 取締役CTO | 取締役CFO | 社外取締役 |
| 企業経営         | ●                  |        |        |       |
| 経営戦略         | ●                  |        |        | ●     |
| テクノロジー(SaaS) | ●                  | ●      |        |       |
| テクノロジー(AI)   | ●                  | ●      |        |       |
| 組織・人事労務      | ●                  |        | ●      |       |
| 会計・ファイナンス    |                    |        | ●      | ●     |
| M&A・PMI      | ●                  |        | ●      | ●     |
| ガバナンス        |                    |        | ●      | ●     |

(注) 上記のスキルマトリクスは、各人の有する全ての知見や経験を表すものではありません。

# 事業報告

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善に足踏みがみられるものの、雇用情勢は改善の動きがみられる等、緩やかに回復しました。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が、先行きの緩やかな回復を支えることが期待される一方、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開するソフトウェア業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化、テレワーク、DX等に関連したシステムへの投資需要拡大が引き続き見込まれます。「新しい働き方」の定着として、政府はテレワークの環境整備や活用、デジタル人材の育成、DXの加速等を進めております。

このような状況の中、当社グループは、『仕事をラクに。オモシロく。』というビジョンのもと、『次のいつもの働き方へ。』をミッションに掲げ、オフィスの生産性向上に貢献すべく、企業向けグループウェア製品「rakumo」、人材管理・採用支援ソリューションサービス「alooop」、社内SNS型日報アプリ「gamba!」、IR動画配信システム「SmartVision IR」、WebサイトCMS「STARTRE CMS」、人材紹介会社向けアライアンスサービス「AGENT SHARE」等の機能強化及び更なる拡販に注力しました。

製品面では、アルムナイをはじめとする多様な人材の採用や管理・コミュニティ作りなどを支援する、人材管理・採用支援ソリューションサービス「alooop」の提供開始、Microsoft 365 市場における新シリーズ「rakumo for Microsoft 365」の第一弾として、「rakumo カレンダー for Microsoft 365」及び「rakumo コンタクト for Microsoft 365」の提供開始、生成AI関連の新機能のリリースを行いました。また、「rakumo for Microsoft 365」の第二弾として、社内掲示板・情報共有ツール「rakumo ボード for Microsoft 365」の提供を2月2日より開始しております。さらに、開発中だったAIアシスタント機能「rakumo エージェント」を2月9日に正式リリースいたしました。

販売面では、業界セグメント特化型マーケティングにおける各種施策（Google Workspace（以下「GWS」という。）導入企業データベースを活用したピンポイントでのクライアント開拓、自治体向けホワイトペーパーの展開等）を推進したことで、大手自治体

(佐久市役所様、秋田県庁様等)からの受注獲得やその他の自治体、医療、建設業、教育等の新たな案件創出が順調に進捗しました。また、株式会社パソナ及びAvePoint Japan 株式会社との業務提携、ポストセールス部門及びBDR (Business Development Representative) を見据えたインサイドセールス体制の強化等、売上高増加に向けた各種施策にも取り組みました。

さらに、「rakumo for Google Workspace」の大幅アップデートや、生成AIを活用した機能強化、複数の有償オプションの標準化等に伴い、2025年10月1日より、一部rakumo製品の利用料金改定を行いました。

費用面では、新機能開発を進めるための外注費、大幅な円安の進行等によるサーバー費用の増加等の費用計上はあったものの、継続的な費用低減施策や、ライセンス売上高の順調な成長により、売上原価率はさらに改善いたしました。なお、一過性のM&A関連費用及び株式報酬費用の増加、スタートレ社及びエージェントシェア社の連結に伴うのれんの償却費等の増加により、販管費率は上昇しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,830,057千円(前連結会計年度比26.8%増)、営業利益は428,094千円(同11.6%増)、経常利益は428,274千円(同14.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は272,306千円(同7.6%増)となりました。

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の経営成績を開示しております。当社は当連結会計年度より、サービスごとの中期的な重要度や軸となる「rakumoサービス」を独立して開示する必要性から、従来の「SaaSサービス」「ソリューションサービス」「ITオフショア開発サービス」の3つの区分から、「rakumoサービス」「その他サービス」の2つの区分でサービス別の経営成績を開示する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のサービス別の経営成績は、変更後の区分方法に基づき開示しております。

#### (rakumoサービス)

rakumo関連サービスにおいては、2025年12月末のクライアント数は2,552社(2024年12月末比79社増)、ユニークユーザー数は579千人(同6千人増)となりました。

売上増加に向け、前期から継続の重点施策であるrakumo製品の価格改定対応や、業界セグメント特化型マーケティングを中心とした各種施策が順調に進捗いたしました。また、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品の活用を促すための能動的なオンボーディング施策、稼働率等を鑑みた更新クライアントへのフォローアップの実施等、お客様満足度の向上や解約率の低減にも努めました。

この結果、rakumoサービスの売上高は1,414,714千円（前連結会計年度比17.3%増）となりました。

（その他サービス）

その他サービスにおいては、主にスタートレ社及びエージェントシェア社を子会社化したことにより、売上高は415,343千円（前連結会計年度比75.1%増）となりました。

#### サービス別売上高

| サービス区分     | 第 21 期<br>(2024年12月期)<br>(前連結会計年度) |       | 第 22 期<br>(2025年12月期)<br>(当連結会計年度) |       | 前連結会計年度比  |       |
|------------|------------------------------------|-------|------------------------------------|-------|-----------|-------|
|            | 金額                                 | 構成比   | 金額                                 | 構成比   | 金額        | 増減率   |
| rakumoサービス | 1,206,185千円                        | 83.6% | 1,414,714千円                        | 77.3% | 208,528千円 | 17.3% |
| その他サービス    | 237,269                            | 16.4  | 415,343                            | 22.7  | 178,073   | 75.1  |
| 合計         | 1,443,455                          | 100.0 | 1,830,057                          | 100.0 | 386,601   | 26.8  |

※rakumoサービスは、rakumo単体ライセンス売上高とrakumoソリューション売上高の合計で構成されております。

なお、前連結会計年度についてもサービス区分を変更した数値で記載しております。

② 設備投資の状況

該当事項はありません。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度において、M&A資金として、金融機関との金銭消費貸借契約により700,000千円、新株予約権の行使により2,540千円の資金調達を行いました。

④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

- ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況  
該当事項はありません。
- ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況  
当社は、2025年7月1日付で株式会社スタートレの全株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。  
また、2025年8月1日付で株式会社エージェントシェアの全株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                      | 第 19 期<br>(2022年12月期) | 第 20 期<br>(2023年12月期) | 第 21 期<br>(2024年12月期) | 第 22 期<br>(当連結会計年度)<br>(2025年12月期) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 売 上 高 (千円)               | 1,096,831             | 1,295,450             | 1,443,455             | 1,830,057                          |
| 調 整 後 E B I T A (千円)     | 248,555               | 342,623               | 436,980               | 585,483                            |
| 営 業 利 益 (千円)             | 232,297               | 303,978               | 383,468               | 428,094                            |
| 経 常 利 益 (千円)             | 225,500               | 296,851               | 375,558               | 428,274                            |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 (千円) | 184,552               | 196,434               | 253,026               | 272,306                            |
| 1株当たり当期純利益 (円)           | 32.34                 | 34.10                 | 43.76                 | 46.81                              |
| 総 資 産 (千円)               | 1,776,603             | 2,670,417             | 3,035,451             | 4,170,937                          |
| 純 資 産 (千円)               | 1,152,489             | 1,365,189             | 1,634,497             | 1,887,017                          |
| 1株当たり純資産 (円)             | 200.47                | 235.28                | 280.16                | 320.48                             |

(注) 1. 調整後EBITA＝営業利益＋のれんの償却費（PPAによる取得原価配分後の各種償却費を含む）＋株式報酬費用＋一過性のM&A関連費用（仲介費用及びDD費用等）

なお、第22期より調整後EBITAの定義を変更しており、過年度に遡及して変更後の数値で記載しております。

2. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
3. 1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分             | 第 19 期<br>(2022年12月期) | 第 20 期<br>(2023年12月期) | 第 21 期<br>(2024年12月期) | 第 22 期<br>(当事業年度)<br>(2025年12月期) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|
| 売 上 高 (千円)      | 1,054,168             | 1,138,919             | 1,230,532             | 1,428,164                        |
| 営 業 利 益 (千円)    | 234,162               | 267,694               | 329,630               | 415,609                          |
| 経 常 利 益 (千円)    | 232,731               | 266,758               | 328,344               | 415,051                          |
| 当 期 純 利 益 (千円)  | 186,403               | 185,772               | 232,876               | 292,467                          |
| 1 株当たり当期純利益 (円) | 32.66                 | 32.25                 | 40.28                 | 50.28                            |
| 総 資 産 (千円)      | 1,659,345             | 2,417,307             | 2,734,838             | 3,758,468                        |
| 純 資 産 (千円)      | 1,056,037             | 1,253,196             | 1,495,141             | 1,771,816                        |
| 1 株当たり純資産 (円)   | 183.70                | 215.88                | 256.17                | 300.71                           |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。  
 2. 1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                    | 資本金           | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容                                 |
|------------------------|---------------|----------|-----------------------------------------|
| RAKUMO COMPANY LIMITED | 4,165,600千VND | 100.0%   | ITオフショア開発                               |
| 株式会社スタートレ              | 10,000千円      | 100.0%   | Webサイト運用・管理、SEO・MEO対策、営業代行サービス、デザインサービス |

(注) 1. 当事業年度の末日における特定完全子会社の状況は、次のとおりであります。

|                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 特定完全子会社の名称                      | 株式会社スタートレ                      |
| 特定完全子会社の住所                      | 愛知県名古屋市中区栄二丁目3番16号 アーク栄広小路ビル6F |
| 当社及び当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 1,015,541千円                    |
| 当社の総資産額                         | 3,758,468千円                    |

2. 株式会社gamba、株式会社アイヴィジョンは重要性が低下したため、重要な子会社から除外しております。
3. 株式会社アイヴィジョンは、2026年1月1日を効力発生日として、当社が吸収合併いたしました。
4. 2025年7月1日付で株式会社スタートレの全株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

### (4) 対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題は、次のとおりであります。

#### ① 既存サービスの強化による顧客満足度の向上と販売の拡大

当社グループの主要サービスである「ライセンスサービス」が今後も継続的な成長を果たしていくためには、より幅広い業種・業態の顧客に選ばれるとともに、継続的に支持される必要があると考えております。そのためには、当該サービスの優位性となっているユーザビリティ（使いやすさ）の維持・向上が不可欠であると認識しております。

今後も顧客ニーズの変化を迅速に把握し、継続的なユーザー・インターフェースの改善、各

種機能強化及び他社製品との連携といった製品機能強化に加え、顧客サポートの品質向上等により、市場優位性の保持に努めてまいります。

#### ② 販売パートナーとのリレーション強化

当社グループの主要製品である「rakumo」は、2010年のサービス提供開始時から販売パートナーとの関係構築を進めており、現在ではGoogle WorkspaceやSales Cloud、Microsoft 365を販売する企業を中心に100社以上の販売パートナー等を有しております。これら販売パートナーとの関係は、当社グループのサービス展開における優位性となっております。

今後も市場拡大が見込まれる中、当社グループが更なる成長を果たしていくためには、販売体制の強化及び知名度の向上が重要であると認識しております。そのため、販売パートナーの新規開拓及び既存パートナーの深耕により、販売体制の強化を図ってまいります。また、販売パートナーがより当社製品を販売しやすくなるよう、展示会やセミナー等を実施するほか、個々の主要販売パートナーに合わせた対応を行ってまいります。

#### ③ 自社販売体制（マーケティング含む）の更なる強化

当社グループは、主要製品である「rakumo」サービスが、Google WorkspaceやSales Cloud、Microsoft 365といったサービスとの連携の中で提供されるという性質上、Google社やセールスフォース社、Microsoft社の顧客に向けたマーケティング・販売施策を主に実施しております。今後の更なる顧客認知と販売機会の獲得に向けて、現在実施しているインターネットマーケティングやイベント出展のほか、業界セグメント特化型（教育機関、自治体、建設業、医療等）マーケティング施策（Google Workspace導入企業データベースを活用したピンポイントでのクライアント開拓、自治体向けホワイトペーパーの展開等）等、幅広い顧客に対する施策を検討してまいります。

また、これまでに獲得した顧客リード（見込み客）のうち、すぐには商談につながりにくいリードについては、商談につなげるための対策を十分に実施できておらず販売機会を逃すこともありましたが、マーケティングオートメーションの活用等により、顧客の検討意向を上げる情報提供を継続的に行ってまいります。

加えて、M&A等を通じて獲得した製品及び販売網を利用し、当社グループ全体として、クロスセル（複数製品販売）に取り組んでまいります。

#### ④ 継続的な新サービスの提供及び投融資

当社グループが競争優位性を確保しながら持続的に成長するためには、前述した既存サービスの強化に加え、提供するサービス領域を拡大し、付加価値を高めていくことが重要であると

考えております。

新サービスの開発や投融資（M&A）等を通じて、既存のGoogle WorkspaceやSales Cloud、Microsoft 365上でのサービス強化に加え、プラットフォーム非依存のビジネス SaaS領域（情報・コミュニケーション系）や現在注力しているHR領域への展開によるビジネス拡大を企図しております。これらにより、当社グループ提供サービスのビジネスインフラとしての価値向上に努めるとともに、収益基盤の強化にも注力してまいります。

⑤ 優秀な人材の継続的な採用と育成

当社グループの持続的な成長のためには、多岐にわたる経歴を持つ優秀な人材を多数採用し、営業体制や開発体制、管理体制等を整備していくことが重要であると捉えております。当社グループのビジョン及び事業方針に共感し、高い意欲を持った優秀な人材を採用していくために、積極的な採用活動を進めるとともに、高い意欲を持って働ける環境や仕組みの構築に引き続き取り組んでまいります。

⑥ PMIの徹底による事業シナジーの早期創出

グループ拡大に伴い増大するのれん償却費に対し、既存事業との統合プロセス（PMI）を迅速かつ確実に実行することが重要な課題であると認識しております。各拠点の経営リソースの共有化やコストシナジーの創出を加速させ、償却負担を上回る利益成長を実現することで、財務体質の健全性を維持しつつ、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

⑦ 財務基盤の安定性と資金調達能力の維持

M&A等に伴うのれん償却費の増大は、会計上の利益水準に影響を及ぼし、一部の借入契約に付されている財務制限条項に抵触するリスクを内包しております。当社グループは、収益力の向上による利益確保を最優先とし、条項の遵守を徹底するとともに、主要取引金融機関との密接なコミュニケーションを通じて、機動的かつ安定的な資金調達体制を維持してまいります。

(5) 主要な事業内容 (2025年12月31日現在)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の事業内容は以下のとおりであります。なお、当連結会計年度より、サービスごとの中期的な重要度や主軸となる「rakumoサービス」を独立して開示する必要性から、従来の「SaaSサービス」「ソリューションサービス」「ITオフショア開発サービス」の3つの区分から、「rakumoサービス」「その他サービス」の2つの区分でサービス別の経営成績を開示する方法に変更しております。

| サービス区分     | サービス内容                                                                                                                                                                           |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| rakumoサービス | 企業向けグループウェア製品「rakumo」の開発・販売、rakumoサービスの導入支援等のソリューションサービスのほか、他社ライセンスの代理店販売を行っております。                                                                                               |
| その他        | 人材管理・採用支援ソリューションサービス「aloop」、社内SNS型日報共有アプリ「gamba!」、IR動画配信サービス「SmartVision IR」、WebサイトCMS「STARTRE CMS」、人材紹介会社向けアライアンスサービス「AGENT SHARE」等の開発・販売のほか、ベトナムを拠点に受託開発及びラボ型のシステム開発等を行っております。 |

(6) 主要な事業所 (2025年12月31日現在)

① 当社

本社：東京都千代田区

② 子会社

RAKUMO COMPANY LIMITED 本社：ベトナム国ホーチミン市

株式会社gamba 本社：東京都千代田区

株式会社アイヴィジョン 本社：東京都渋谷区

株式会社スタートレ 本社：愛知県名古屋市

株式会社エージェントシェア 本社：東京都千代田区

(7) **従業員の状況** (2025年12月31日現在)

① 企業集団の従業員の状況

| 従業員数      | 前連結会計年度末比増減 |
|-----------|-------------|
| 124 (6) 名 | 40名増        |

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー・アルバイト）は、年間の平均人員を（ ）外数で記載しております。また、従業員数が前連結会計年度末と比べて40名増加しておりますが、その主な理由は、子会社数の増加によるものであります。

② 当社の従業員の状況

| 従業員数     | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|----------|-----------|-------|--------|
| 61 (5) 名 | 8名増       | 37.5歳 | 5.8年   |

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー・アルバイト）は、年間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(8) **主要な借入先の状況** (2025年12月31日現在)

① 企業集団の主要な借入先状況

| 借入先          | 借入額       |
|--------------|-----------|
| 株式会社りそな銀行    | 649,996千円 |
| 株式会社日本政策金融公庫 | 37,074千円  |
| 豊田信用金庫       | 29,175千円  |

② 当社の主要な借入先状況

| 借入先       | 借入額       |
|-----------|-----------|
| 株式会社りそな銀行 | 649,996千円 |

(9) **その他企業集団の現況に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2025年12月31日現在)

- |            |             |
|------------|-------------|
| ① 発行可能株式総数 | 15,000,000株 |
| ② 発行済株式の総数 | 5,829,500株  |
| ③ 株主数      | 3,871名      |
| ④ 大株主      |             |

| 株主名                | 持株数      | 持株比率   |
|--------------------|----------|--------|
| 御手洗大祐              | 963,600株 | 16.53% |
| 平井康博               | 783,100  | 13.43  |
| 田近泰治               | 526,500  | 9.03   |
| 株式会社創世             | 368,000  | 6.31   |
| アイ・マーキュリーキャピタル株式会社 | 291,300  | 4.99   |
| 株式会社SBI証券          | 260,058  | 4.46   |
| 門田洋                | 140,000  | 2.40   |
| J P モルガン証券株式会社     | 64,700   | 1.11   |
| 楽天証券株式会社           | 59,300   | 1.01   |
| 林倫弘                | 49,000   | 0.84   |

- (注) 1. 持株比率は自己株式(168株)を控除して計算しております。  
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

- ⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対し交付した株式の状況  
当社は、2024年3月26日開催の第20回定時株主総会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。これを受け、2025年3月25日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を決議し、同年4月18日付で取締役(社外取締役を除く。)3名に対して普通株式5,300株を発行いたしました。
- ⑥ その他株式に関する重要な事項  
新株予約権の行使により、発行済株式の総数が14,000株増加しております。

## (2) 会社役員の状況

### ① 取締役及び監査役の状況（2025年12月31日現在）

| 会社における地位 | 氏 名    | 担当及び重要な兼職の状況                                     |
|----------|--------|--------------------------------------------------|
| 代表取締役社長  | 清水 孝治  | グループCEO                                          |
| 取締役      | 御手洗 大祐 | 会長                                               |
| 取締役      | 石田 和也  | CTO プロダクト部長                                      |
| 取締役      | 石曾根 健太 | CFO                                              |
| 取締役      | 金子 昌史  | 株式会社ZEN 代表取締役                                    |
| 常勤監査役    | 秦 美佐子  | 公認会計士秦美佐子事務所 所長                                  |
| 監査役      | 野口 誉成  | 株式会社CARTA HOLDINGS 常勤社外監査役<br>PicoCELA株式会社 社外監査役 |
| 監査役      | 中野 玲也  | 森・濱田松本法律事務所 パートナー<br>株式会社Amazia 社外取締役            |

- (注) 1. 取締役金子昌史氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役秦美佐子氏、監査役野口誉成氏及び中野玲也氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役秦美佐子氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 監査役中野玲也氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務及び法律に関する相当程度の知見を有しております。
5. 当社は、監査役秦美佐子氏及び野口誉成氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
6. 常勤監査役秦美佐子氏の戸籍上の氏名は、小野美佐子であります。
7. 当事業年度中の取締役の地位及び担当の異動状況は次のとおりであります。

| 氏 名    | 異 動 前            | 異 動 後              | 異 動 年 月 日  |
|--------|------------------|--------------------|------------|
| 清水 孝治  | 事業担当執行役員<br>COO  | 代表取締役社長<br>グループCEO | 2025年3月25日 |
| 御手洗 大祐 | 代表取締役社長          | 取締役会長              | 2025年3月25日 |
| 石曾根 健太 | 取締役CFO<br>経営管理部長 | 取締役CFO             | 2025年9月1日  |

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役及び各監査役との間で、会社法第427条第1項及び定款の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、社外取締役及び各監査役とも会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

## ③ 役員等賠償責任保険（D&O保険）の内容の概要

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は当社の取締役、監査役及び会社法上の重要な使用者であり、被保険者は保険料を負担しておりません。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行った行為（不作為を含みます。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等が填補されることとなります。

ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、被保険者の背信行為もしくは犯罪行為又は故意による法令違反の場合や、保険開始日前に既に発生している損害賠償請求等は保険の対象としないこととしております。

## ④ 取締役及び監査役の報酬等

### イ. 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

当社は、2020年5月25日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。

当社の取締役の報酬体系は、中長期的視点で経営に取り組むことが重要との考えから、安定性を重視した固定報酬を基本とし、これに企業価値の向上・株主利益の追求に対するインセンティブとしての賞与及び非金銭報酬等（譲渡制限付株式報酬）を付与することとしております。

固定報酬につきましては、業界水準、当社業績、各取締役に求められる職責及び能力等、諸般の事情を考慮し決定することとしております。

賞与につきましては、当社業績及び各役員業績への寄与度を考慮し決定することとしております。なお、業績連動報酬については採用しておりません。

非金銭報酬等についての概要は以下の通りです。

#### i. 交付対象者及び交付株式数の決定

譲渡制限付株式交付対象者は、取締役（社外取締役を除く。）及び執行役員とする。

当社が付与する当該株式の数は、月次の基本報酬を基礎として役職別に規定された係

数を乗じて算出した金額を基に決定することとします。

ii. 譲渡制限期間

取締役は、当社の株式の交付日から、当社の取締役その他当社取締役会で定める地位を退任する日までの間、当該株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならないこととします。

iii. 無償取得事由

当社は、正当な理由によらない役務提供期間途中の退任、法令又は社内規則の違反その他の当該株式を無償取得することが相当である事由として当社の取締役会で定める事由に該当した場合、当該株式を無償で取得します。

取締役会は当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることを確認しており、当該方針に沿うものであると判断しております。

監査役報酬は、株主総会で決議された報酬限度額の範囲内において、監査役会において協議し、監査役全員の同意のもと、個別の報酬額を決定しております。監査役報酬の内容は、固定報酬のみで構成されており、業務分担の状況等を勘案し、決定することとしております。

ロ. 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役の報酬限度額は、2020年5月25日開催の臨時株主総会において、年額100,000千円以内と決議しております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は5名であります。

また、当該金銭報酬とは別枠で、2024年3月26日開催の第20回定時株主総会において、取締役（社外取締役を除く。）に対し譲渡制限付株式報酬として、年額10,000千円以内と決議しております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は4名であり、対象取締役は3名であります。

監査役報酬限度額は、2020年5月25日開催の臨時株主総会において、年額20,000千円以内と決議しております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は3名であります。

ハ. 取締役の個人別の報酬等の決定に係る委任に関する事項

取締役会は、取締役の個人別の報酬等の決定に関して、社外役員を構成員の過半数とする任意の報酬委員会において、株主総会で決議された報酬限度額の範囲内で委任しております。

a. 報酬委員会の構成

議長：代表取締役社長グループCEO 清水孝治

構成員：取締役 金子昌史（社外取締役）、常勤監査役 秦美佐子（社外監査役）、  
監査役 野口誉成（社外監査役）、監査役 中野玲也（社外監査役）

b. 委任された権限の内容

役員報酬の構成や支給基準、各取締役の報酬額の決定を行っております。

c. 権限を委任した理由

独立社外役員の適切な関与・助言を得て、個人別の報酬等の決定に関する手続きの妥当性や審議プロセスの透明性・実効性を担保するためであります。

d. 報酬委員会の権限が適切に行使されるようにするための措置

報酬委員会は代表取締役及び監査役を含む社外役員にて構成され、社外役員が過半数となっております。同委員会に出席する取締役は議決権を持ち、監査役はアドバイザーとして参加しております。同委員会において直接議論を交わし、出席取締役は監査役を含めた各意見を尊重したうえで、当該取締役の過半数をもって取締役の個人別の報酬額を決定することとしております。

二. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分               | 報酬等の総額<br>(千円)     | 報酬等の種類別の総額 (千円)    |          |              | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|------------------|--------------------|--------------------|----------|--------------|-----------------------|
|                  |                    | 基本報酬               | 賞与       | 非金銭<br>報酬等   |                       |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 49,331<br>(600)    | 44,925<br>(600)    | －<br>(－) | 4,406<br>(－) | 5<br>(1)              |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 10,425<br>(10,425) | 10,425<br>(10,425) | －<br>(－) | －<br>(－)     | 3<br>(3)              |
| 合計<br>(うち社外役員)   | 59,756<br>(11,025) | 55,350<br>(11,025) | －<br>(－) | 4,406<br>(－) | 8<br>(4)              |

⑤ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・社外取締役金子昌史氏は、株式会社ZENの代表取締役であります。同社と当社との間には特別な関係はありません。
- ・社外監査役秦美佐子氏は、公認会計士秦美佐子事務所の所長であります。同事務所と当社との間には特別な関係はありません。
- ・社外監査役野口誉成氏は、株式会社CARTA HOLDINGSの常勤社外監査役及びPicoCELA株式会社の社外監査役であります。両社と当社との間には特別な関係はありません。
- ・社外監査役中野玲也氏は、森・濱田松本法律事務所のパートナー及び株式会社Amaziaの社外取締役であります。同事務所及び同社と当社との間には特別な関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

|          | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 金子昌史 | 当事業年度に開催された取締役会18回全てに出席いたしました。出席した取締役会において、企業経営に関する豊富な経験や、幅広い見識に基づき、経営全般の観点から適宜発言を行っております。また、報酬委員会の委員として、当事業年度に開催された委員会全1回に出席し、各取締役の評価・報酬の適正な配分等につき適宜意見を述べ、客観的・中立的立場での監督機能を担っております。 |
| 監査役 秦美佐子 | 当事業年度に開催された取締役会18回全て、監査役会13回全てに出席いたしました。出席した取締役会及び監査役会において、主に財務・会計等に関し、公認会計士としての専門的見地から適宜発言を行っております。                                                                                |
| 監査役 野口誉成 | 当事業年度に開催された取締役会18回全て、監査役会13回全てに出席いたしました。出席した取締役会及び監査役会において、内部監査における経験や、他社監査役としての豊富な知見に基づき、適宜発言を行っております。                                                                             |
| 監査役 中野玲也 | 当事業年度に開催された取締役会18回全て、監査役会13回全てに出席いたしました。出席した取締役会及び監査役会において、主に弁護士としての専門的見地から適宜発言を行っております。                                                                                            |

### (3) 会計監査人の状況

① 名称 和泉監査法人

② 報酬等の額

|                                     | 報酬等の額    |
|-------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 19,000千円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 19,000   |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等について同意の判断をいたしました。

3. 当社の連結子会社であるRAKUMO COMPANY LIMITEDは、当社の会計監査人以外の公認会計士又は監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む）の監査を受けております。

③ 非監査業務の内容

該当事項はありません。

④ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

### 3. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けております。売上高及び営業利益が共に過去最高を更新している順調な事業成長の状況を踏まえて、成長投資、資本効率及び株主還元のバランスを考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行っていく方針であります。また、2027年12月期における配当性向30%を目標としております。

なお、自己株式の取得につきましても、余剰資金が生じる場合には、株式の流動性及び株価状況について考慮しながら、機動的に実施していく方針であります。

加えて、株主の皆様への一層の還元を図るべく、株主優待制度を導入し、総還元性向の向上に寄与しております。詳細につきましては、2026年2月12日公表の「株主優待制度の新設に関するお知らせ」をご参照ください。

## 連結貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              | 科 目                | 金 額              |
|-----------------|------------------|--------------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>      |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>2,013,889</b> | <b>流動負債</b>        | <b>1,101,213</b> |
| 現金及び預金          | 1,818,791        | 買掛金                | 61,155           |
| 売掛金             | 168,746          | 1年内返済予定の長期借入金      | 111,156          |
| 仕掛品             | 312              | 未払法人税等             | 97,194           |
| 貯蔵品             | 135              | 契約負債               | 693,154          |
| その他             | 75,465           | 賞与引当金              | 6,531            |
| 貸倒引当金           | △49,561          | 資産除去債務             | 2,489            |
| <b>固定資産</b>     | <b>2,151,217</b> | その他                | 129,532          |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>32,279</b>    | <b>固定負債</b>        | <b>1,182,705</b> |
| 建物附属設備          | 25,685           | 転換社債型新株予約権付社債      | 500,000          |
| 車両運搬具           | 702              | 長期借入金              | 605,089          |
| 工具、器具及び備品       | 5,892            | 繰延税金負債             | 53,166           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>2,008,005</b> | 資産除去債務             | 19,344           |
| のれん             | 1,637,888        | その他                | 5,106            |
| 顧客関連資産          | 168,977          | <b>負債合計</b>        | <b>2,283,919</b> |
| ソフトウェア          | 156,218          | <b>(純資産の部)</b>     |                  |
| ソフトウェア仮勘定       | 44,921           | <b>株主資本</b>        | <b>1,843,599</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>110,932</b>   | 資本金                | 400,629          |
| 投資有価証券          | 24,546           | 資本剰余金              | 361,479          |
| 繰延税金資産          | 42,334           | 利益剰余金              | 1,081,719        |
| その他             | 44,051           | 自己株式               | △229             |
| <b>繰延資産</b>     | <b>5,830</b>     | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>24,563</b>    |
| 社債発行費           | 3,603            | その他有価証券評価差額金       | △8               |
| 新株予約権発行費        | 2,227            | 為替換算調整勘定           | 24,571           |
| <b>資産合計</b>     | <b>4,170,937</b> | <b>新株予約権</b>       | <b>18,855</b>    |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>       | <b>1,887,017</b> |
|                 |                  | <b>負債純資産合計</b>     | <b>4,170,937</b> |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       |
|-----------------|-----------|
| 売上高             | 1,830,057 |
| 売上原価            | 541,013   |
| 売上総利益           | 1,289,044 |
| 販売費及び一般管理費      | 860,949   |
| 営業利益            | 428,094   |
| 営業外収益           |           |
| 受取利息            | 3,703     |
| 助成金収入           | 8,400     |
| その他             | 1,135     |
| 営業外費用           |           |
| 支払利息            | 4,241     |
| 投資事業組合運用損       | 1,428     |
| 社債発行費償却         | 1,544     |
| 新株予約権発行費償却      | 2,901     |
| 事務所移転費用引当金繰入額   | 1,312     |
| 為替差損            | 53        |
| その他             | 1,577     |
| 経常利益            | 428,274   |
| 税金等調整前当期純利益     | 428,274   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 152,325   |
| 法人税等調整額         | 3,642     |
| 当期純利益           | 272,306   |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | -         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 272,306   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額              | 科 目            | 金 額              |
|-----------------|------------------|----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>  |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,288,323</b> | <b>流動負債</b>    | <b>922,738</b>   |
| 現金及び預金          | 1,090,487        | 買掛金            | 63,681           |
| 売掛金             | 52,049           | 1年内返済予定の長期借入金  | 100,008          |
| 仕掛品             | 312              | 未払金            | 20,328           |
| 貯蔵品             | 135              | 未払費用           | 11,939           |
| 前払費用            | 38,833           | 未払法人税等         | 74,813           |
| 関係会社短期貸付金       | 100,000          | 預り金            | 6,041            |
| その他             | 6,505            | 契約負債           | 610,026          |
| <b>固定資産</b>     | <b>2,464,314</b> | 賞与引当金          | 6,531            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>15,914</b>    | その他            | 29,369           |
| 建物附属設備          | 11,903           | <b>固定負債</b>    | <b>1,063,913</b> |
| 工具、器具及び備品       | 4,010            | 転換社債型新株予約権付社債  | 500,000          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>159,426</b>   | 長期借入金          | 549,988          |
| ソフトウェア          | 118,503          | 資産除去債務         | 8,818            |
| ソフトウェア仮勘定       | 40,923           | その他            | 5,106            |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>2,288,973</b> | <b>負債合計</b>    | <b>1,986,652</b> |
| 投資有価証券          | 24,546           | <b>(純資産の部)</b> |                  |
| 関係会社株式          | 2,214,013        | <b>株主資本</b>    | <b>1,752,969</b> |
| 長期前払費用          | 239              | 資本金            | 400,629          |
| 繰延税金資産          | 26,254           | 資本剰余金          | 361,479          |
| 敷金              | 23,918           | 資本準備金          | 331,479          |
| <b>繰延資産</b>     | <b>5,830</b>     | その他資本剰余金       | 30,000           |
| 社債発行費           | 3,603            | <b>利益剰余金</b>   | <b>991,089</b>   |
| 新株予約権発行費        | 2,227            | その他利益剰余金       | 991,089          |
| <b>資産合計</b>     | <b>3,758,468</b> | 繰越利益剰余金        | 991,089          |
|                 |                  | <b>自己株式</b>    | <b>△229</b>      |
|                 |                  | 評価・換算差額等       | △8               |
|                 |                  | その他有価証券評価差額金   | △8               |
|                 |                  | <b>新株予約権</b>   | <b>18,855</b>    |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>   | <b>1,771,816</b> |
|                 |                  | <b>負債純資産合計</b> | <b>3,758,468</b> |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額       |
|--------------|-----------|
| 売上高          | 1,428,164 |
| 売上原価         | 497,262   |
| 売上総利益        | 930,901   |
| 販売費及び一般管理費   | 515,292   |
| 営業利益         | 415,609   |
| 営業外収益        |           |
| 受取利息         | 4,490     |
| 業務受託料        | 4,525     |
| その他          | 73        |
| 営業外費用        |           |
| 支払利息         | 3,772     |
| 投資事業組合運用損    | 1,428     |
| 社債発行費償却      | 1,544     |
| 新株予約権発行費償却   | 2,901     |
| その他          | 0         |
| 経常利益         | 415,051   |
| 税引前当期純利益     | 415,051   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 117,534   |
| 法人税等調整額      | 5,050     |
| 当期純利益        | 292,467   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主総会会場ご案内図

会場：ホテルルポール麹町（麹町会館）  
2階「サファイアの間」  
東京都千代田区平河町二丁目4番3号  
TEL (03) 3265-5365



- ◎地下鉄 有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩3分
- ◎地下鉄 有楽町線・半蔵門線「永田町駅」5番出口より徒歩5分
- ◎地下鉄 南北線「永田町駅」9a番出口より徒歩5分